

# 釣船寺たより

発行所 釣船寺  
〒300-0641  
茨城県稲敷市  
浮島3583-1  
029-840-7778

## 暑中お見舞い申し上げます

今年の暑さは格別でございませうが、皆様ご健勝のことと存じます。ハス畑に花が咲き乱れ、そろそろ盆供養の時期が近づいてまいりました。今回のたよりは、お盆についてのお話をしたと思います。

### お盆の心

「お盆の心」とは、「安らぎと喜び、そして慈しみ」の心に他なりません。

亡きご先祖様をお迎えして、なつかし我が家で安らいでいただく、そして私たち「安らぎと喜び」を共にする時間でもあるからです。

お盆は、亡き人やご先祖様にとっては、愛する人や子孫と過す「休息」の日であり、私たちにあっては、「安息」の日であり、「慈しみ」の日々であるのです。

### まじろのおもてなし

お盆の行事は、お釈迦様やお地藏さまと同じ心で、父や母を想い、ご先祖様を敬い、亡き人の「あの世の安らぎと喜び」を祈ることであり、それが共に「慈しみの世界」に包まれ住することにほかならないのです。

今日のお盆は、ご先祖様のみ霊を供養する行事です。仏教では、「盂蘭盆会うらぼんえ」と言います。日本では、六五七年に宮中で初めて行われた記述があり、以後、ご先祖様のみならず、生きとし生けるものすべてに供養を施し、幸福を願う国民的行事として定着しました。

お盆の時期は、一般に七月または八月の十三日、十五日の三日間が中心とされています。

## 精霊棚

ご先祖様のみ霊をお迎えするには、まず、精霊棚を作ります。まず、ござを敷いた台を置き、お膳やお供物、香炉やろうそく立てなどを設置し、お仏壇からお位牌を移します。

### お供物

水の子（洗った生米とさいの目に切ったナス・キュウリを混ぜ、ハスの花やお皿に盛ったもの）  
そうめんなどの乾物  
夏野菜、果物

夏野菜、果物

ほおずき（枝つきのまま飾り、み霊を導く提灯に見立てる）  
水向の水（水を入れた器にミソハギの花を添える）

お盆を迎えるにあたっては、家族そろってお墓を掃除し、お花を飾り、お墓参りをされるのがよいでしょう。



盆供養料のご納付をお願いします。墓参の折、郵便振込でも結構です。

## お迎えとお送り

お迎えは十三日の夕方から夜にかけて、お墓や家の玄関先などでご先祖様のみ霊をお迎えする「迎え火」を焚きます。

ご先祖様は、迎え火の明かりを頼りに、家族のもとへお戻りになります。そしてその灯をみ霊への目印として盆棚に移します。

お盆の間は、ご先祖様がそこにいるかのようにおもてなしをします。そして、十五日の夕方か、十六日の午前中にみ霊をお送りします。

お迎えの時と同じように、玄関先で火を焚いたり、灯籠を流したりします。

